



# 《施工手順書》

カイム塗料 コンクリート・ラスワ  
カラークリア仕上げ

1	下地準備	適用下地	●コンクリート、セメントモルタル、ALCパネル（※）、コンクリート・ブロック
		割れ・破損・浮き	●防水処理、補修がしてあり、仕上げに支障の内容に下地調整されている事
		不陸・目違い	●塗材の希釈率、厚さ、色の種類等により許容可能な範囲に処理されている事 ●下地は良好な状態を確認（希釈仕上げでは下地状態が仕上げ後に反映される）
		下地の強度	●十分な付着性の為、塗材以上の強度と剛性を有している事
		下地の乾燥	●コンクリート下地は含水率10%以下に乾燥させて下さい
		下地の吸湿性	●下地に吸湿性がある事（金属、プラスチック等には塗装不可） ●下地が鏡面状態で吸湿性が無い場合、サンダー等で荒らし吸湿性を確保
		不純物の付着	●下地は正常な面とし、じんあい、油脂、サビ、コンクリート/モルタルのこぼれが無い事 ●下地は型枠離型剤、白華、レイタンス、藻、カビ等が無い事 ●既存の塗膜等、もろく不安定な箇所は取り除いて下さい
		養生	●作業中の飛沫が塗装しない周囲にからないようにマスキング・養生する事 ●塗装後、乾燥するまで直射日光、風、雨から保護して下さい

2	施工	下塗り (1回目)	工法	●ローラー塗り、刷毛塗り、吹付け
			塗材の搅拌	●自然顔料等が容器の底に沈殿している為、作業前に充分搅拌する事 ●塗装中も頻繁に搅拌して下さい
			希釈率	●希釈液で主材を希釈する（注：上水等の専用希釈液以外は不可） ●ハカリで本材と希釈材の重量を正確に計量し目的希釈率にする（希釈見本参照）
			試塗り	●材料の搅拌度合いをベニヤ板等で確認して混合された塗材を塗布
		仕上げ塗り (2回目)	2回目塗り	●下塗りと同じ工法で塗装。パターンがある場合パターンずれが無いか確認する事 ●事前準備の塗見本と比較してテクスチャー、色彩、仕上厚に差異が無い事を確認

工程	材 料	(希釈比率)	調 合	所要量	塗回数	間隔時間 (h)		
			(L/m <sup>2</sup> )	工程内		工程間	最終養生	
主材塗り 又は 希釈混合材塗り	コンクリート・ラスワ、希釈材	設計指定	約0.225	1	2以上	12	12	
	コンクリート・ラスワ、希釈材		約0.225	1				

※施工前に  
試塗りにより  
判断下さい



# 《施工手順書》

カイム塗料 コンクリート・ラスワ  
カラークリア仕上げ

3 施工条件		気温	●+5°C~30°Cで塗装作業を行う事
		天候	●直射日光下、太陽で熱せられた状態、雨天、降雨の可能性が大きい場合は中止
		乾燥時間	●塗装と塗装の乾燥時間は最低でも12時間
4 所要量		2回塗りの場合	約0.45L/m <sup>2</sup> (下地吸収率による為、試し塗りで決定下さい)
5 用具取り扱い		作業中	●作業休憩時間中も用具は塗料や水に浸漬して下さい
		作業終了後	●刷毛、ローラーは使用後直ぐに水で洗浄して下さい
6 作業環境		換気	●狭所、密閉された作業環境では確実に「換気」を行って下さい
7 塗材保管		場所/期限	●使用後は容器をしっかりと密封し、冷所で霜がかからない場所で約12か月です
			●直射日光・熱にご注意下さい
8 廃棄		規制準拠	●容器の廃棄処分については、行政上規制に準拠し如何なる残滓物も無き事

SGM株式会社

〒252-0231 神奈川県相模原市中央区相模原6-14-2-103

電話： 042-814-7542